

【1.体制】

2005年9月より済生会熊本病院臨床工学部より週2日の派遣で業務を行っており、常勤の臨床工学技士は不在である。2022年4月より毎週、月曜日と木曜日に業務を行った。

【2.取組内容と実績】

1. ME 機器中央管理業務

ME 中央管理室の業務では、機器の貸出し、保守点検整備および修理を主たる業務としている。

中央管理しているME 機器は、人工呼吸器4台、N P P V 2台(レンタル1台)、輸液ポンプ32台、シリンジポンプ10台、経管栄養ポンプ3台、小型シリンジポンプ2台、低圧持続吸引器5台、除細動器3台、A E D 4台、体外式ペースメーカー2台、その他に医用テレメータ、ベッドサイドモニター、自動血圧計、パルスオキシメーター、ジェットネブライザーなどである。

表1.点検件数 (2023年度) (件)

機器種類	集 計
輸液ポンプ	251
ジェットネブライザー	33
小型シリンジポンプ	29
シリンジポンプ	19
ベッドサイドモニター	16
低圧持続吸引器	14
NPPV	10
栄養ポンプ	8
人工呼吸器	4
麻酔ガスモニタ	4
除細動器	4
麻酔器	3
医用テレメータ	3
AED	2
カフ圧計	2
総計	402

機種別点検件数を示している。

点検件数は、402件であった(前年度461件)。

2. 病棟機器の保守整備業務

機器の保守・調整は、中央管理機器に限らず病棟管理の物品も行っている。

修理件数が多かった機種は、血圧計、パルスオキシメーターであった。

パルスオキシメーターは、修理費より安価で同性能・同耐久性の物へ更新中である。保証期間のみ修理を依頼している。

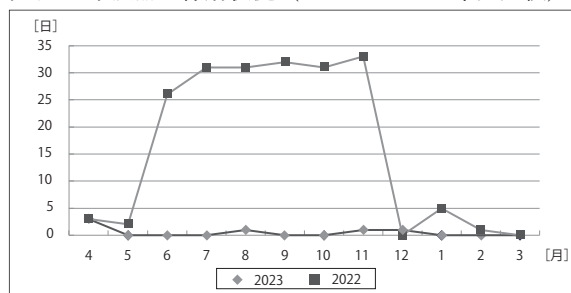
3. 人工呼吸器業務

人工呼吸器が必要な緊急時は、機器を選定しベッドサイド配置および呼吸器設定の補助を行っている。

定期的な回路・フィルタ交換を行っている。要望に合わせ蛇管構成の変更も行っている。

需要に応じてN P P Vのレンタル手配・整備を随時行っている。

図1.人工呼吸器の稼働状況 (2022・2023年度比較)

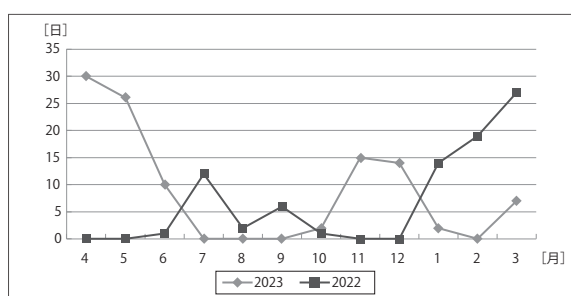


2022・2023年度の月別の稼働日数を表している。

平均稼働率0.4% (2022年度17.81%)

使用数日 6日 (2022年度 195日)

図2. N P P Vの稼働状況 (2022・2023年度比較)



2022・2023年度の月別の稼働日数を表している。

平均稼働率14.5% (2022年度11.2%)

使用日数 106日 (2022年度82日)

N P P Vはレンタルで運用しており、1台使用する毎に予備機を追加している。

2023年よりC S A - T J (心不全用) を1台常備している。機器の不足時には、同機種の補充やN I P ネーザル V (呼吸不全用) の追加もできる体制としている。

メーカーの都合により、予備機を減らしている状況であるが、不足がないよう在庫の調整を行っている。

4. ペースメーカー業務

体外式ペースメーカーの電極挿入時にジェネレーター操作およびサポートを行っている。ペースメーカーの植え込みのサポートを開始し、4例の植え込みが行われた。

5. 手術室業務

麻酔器の保守を行っている。
手術の補助も行っている。

6. ME 教育・指導

ME 機器の原理、構造、適切な使用法の勉強会を行っている。

起こりうるトラブルとその対処、安全対策などに関して随時情報提供を行っている。

トラブルの報告があった際は、迅速に対応・原因追求して返答し、その情報をME 中央管理室に蓄積して、メーカーとの協議を行っている。